

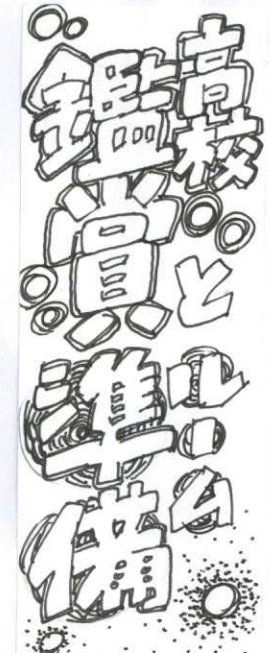
川崎市立
川崎高校
新聞
委員会
合併号



二日間にわたる秋季行事は、今年
は新型コロナウイルスの影響で例年と
は異なる形での開催となり、神無祭
午前の部のステージ鑑賞は高校生
みの参加となった。
吹奏楽部は自粛期間で練習時間の
影響で十分に取れない状況下で仕上
げることができそうな曲ということ



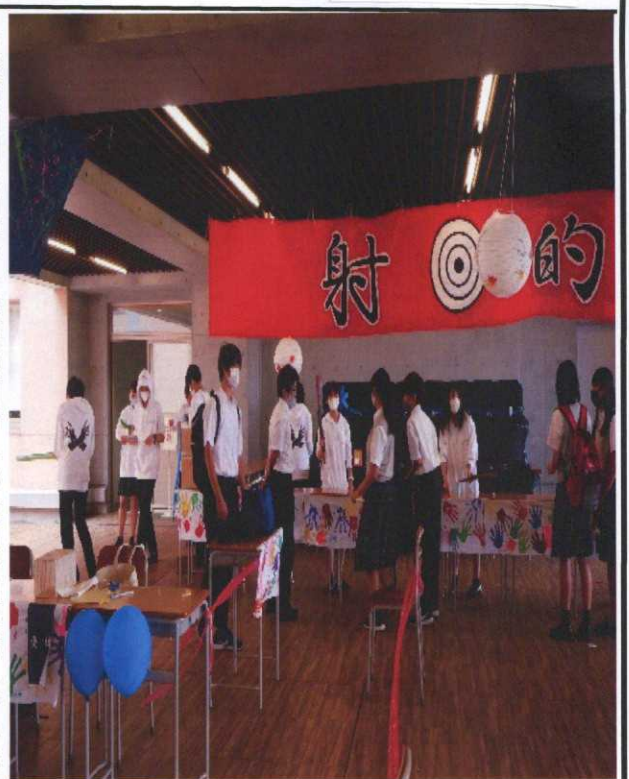
「新宝島」を演奏することを決定したそうだ。演奏と共に
披露された振り付けは、三月に行われる予定だった定期演
奏会のために考えられていたものだと話した。
また、演劇部と福祉ボランティア部にもインタビューを
実施した。
演劇部部長の日原萌花さんは「準備期間が短い中、部員
全員で力を合わせて練習を積み重ねてきました。問題は多
くありましたが、皆さんの前で演じられたことを大変うれ
しく思います」と喜びを語った。
福祉ボランティア部部長の浦野美咲さんは「コロナの影
響もあり、準備期間も短い中の部活の練習は大変ではあり
ましたが、一致団結して、とても充実した発表ができまし
た」と話した。
皆さんもぜひこの機会に今回の神無祭を振り返ってみ
てはいかがだろうか。



当日メインアリーナで行われた高校鑑賞は、放送部
や神無祭実行委員、生徒会の支援のもと、福祉ボラン
ティア部、演劇部、ダンス部、吹奏楽部が日頃の成果
を披露した。各団
体は短い練習期
間のなかでの練
習を強いられた
ことが今回の最
大の課題だった。
当日はコロナウ
イルスへの感染
を防止するとい
う理由から、発表
への声援は禁止
された。しかし、
観客の盛り上が
りは観衆の手拍子
と視線に十分に表
れていただろう。



今年度の神無祭は、コロナウイルスの影響で準備が
大幅に遅れた。各ルームの準備について、例年とは異
なる対応が求められた。例えば飲食物の販売が禁止
されたことから、発表の形式は展示・体験・演目に限
定された。また、従来の神無祭で使用する教室に加
え、メインアリーナや大教室等の使用も許可された。
そのため発表する内容に合わせて場所を選択するこ
とができた。そして感染予防のためにアルコール消毒
を欠くことはできなかった。当日は中高合同の参加で
人の出入りが多いため、効率よく使用する道具等を
消毒することが求められた。夏休みや神無祭実施前



の準備期間に向けて、展示物創作への役割分担や話し合いに
も十分な時間を設けることは困難を極めた。しかしこのよう
な形でも、皆さんが力を合わせて行った準備期間を経て、神
無祭を開催できたことは皆さんにとって良い経験になった
だろう。来年度の神無祭についてどのような形での実施にな
るか、コロナウイルスの脅威がどうなるのかも含め見当もつ
かない。今回のように今まで常識であったことも、そうでは
なくなってしまうことが多々ある、このような状況に臨機応
変に対応することが今の私たちには求められているのでは
ないだろうか。

神無祭実行委員長の一言

準備する期間が例年より短くスムーズに
やらなければいけなかった点や初めての試
みが多く、全校生徒に連絡が行き渡らせる
ことが大変でした。神無祭は高校三学科と
中学校が文化交流できる行事だと思っ
て、そこを楽しんでいただけたのならば幸い
です。ありがとうございました。